



平成25年度の活動について

公募委員の再公募, 推薦委員の再推薦の実施

協議会の委員について、公募委員の再公募、推薦委員の再推薦を実施し、再編成した組織で協議会を進めていくことになりました。

7月25日 第1回協議会

平成24年度の事業結果、平成25年度の事業計画を報告し、学校MMの実施、地域フォーラムの実施、おでかけマップの内容見直し、共通ロゴマークの活用検討、先進都市事例調査・研究を実施することに決定しました。

8月21日 地域フォーラムの実施

- ・名称 「里山における公共交通とまちづくり」
- ・日時 平成25年8月21日
- ・場所 市貝町 町民ホール
- ・内容 基調講演「地域のおでかけを守る戦略と知恵」
講師 福島大学人文社会学群経済経営学類 准教授 吉田 樹 氏
パネルディスカッション「里山における公共交通とまちづくり」
- ・参加者 120名



基調講演において、「人口減少社会においては地域公共交通の『マネジメント』責務は市町村にあり、今ボールを投げられている状況である。行政、事業者だけでは限界がある。地域住民を巻き込んで、三位一体で地域公共交通を改善し、おでかけを守る必要がある。会議室ではいいアイデアが生まれにくい。現場に出て利用者の立場で地域公共交通の構築をすることが必要である。」とのお話をいただきました。

パネルディスカッションでは、「まちづくり（道の駅のオープン）と併せた公共交通の活用などにより、利用者増につなげることができるのではないかと。路線バスやLRTなどの基幹公共交通へ乗り継ぐための重要な手段となるので、デマンド交通は引き続きPRしていく必要がある。今後は県央エリアをどのようにつないでいくか課題となってくる。」との発言がありました。

先進都市事例調査・研究

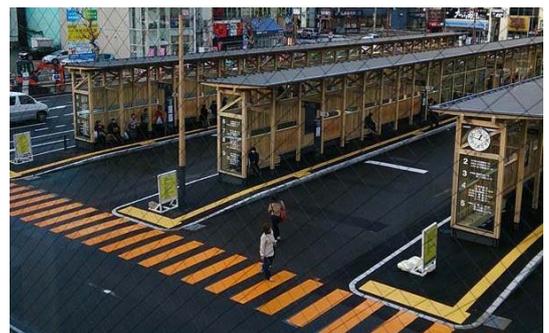
県央地域が抱える短期または長期的課題に関する先進事例を調査、研究するために、先進地視察を実施しました。

《視察地》秋田市役所：路線バスに関する先進地視察

- ・路線バス（民間・市営）における役割分担
- ・バス利用促進策
 - ①高齢者に対する事業
 - ②公共交通利便性向上策
 - ③行政、交通事業者、利用者（住民）の協同での取組

《視察日》

平成25年11月21日



《視察結果》

「高齢者100円バス」については、運賃体系の明瞭性や低廉化、手続や支払方法の簡素化がバス利用促進ならびに高齢者の外出支援に多大に寄与するということを定量的なデータ等から再確認できたが、現時点では、県央地域における高齢者への外出支援事業に差異があり、加えて費用対効果や財政負担面からも課題があるため、引き続き事務局において高齢者への公共交通による外出支援事業について情報収集し、情報の共有化に努めていきたい。

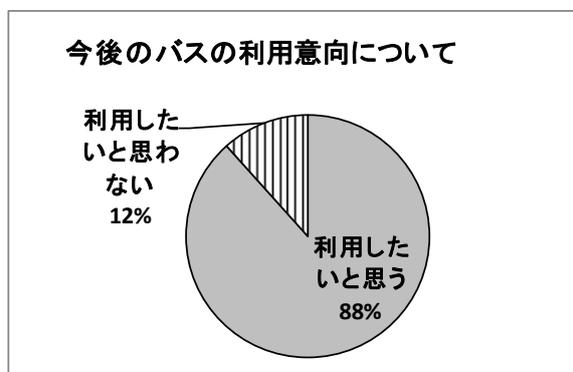
また、マイタウン・バス運行の際やバス系統番号制度導入時等においては、利用者からの意見を踏まえて改善を行うなど、行政側だけでなく事業者と連携し、利用者（住民）を巻き込みながら実施しており、県央地域においても、そのような手法を参考に今後も事業を展開していきたい。

12月5日 真岡東小でのバスの乗り方教室・バリアフリー教室(学校MM)の実施

公共交通である路線バスについて利用方法やマナーを学ぶことにより、児童の公共的な資質の向上を図るとともに、バスを身近に感じることで、路線バスの利用促進を図ることを目的として、新たな取組である「バスの乗り方教室・バリアフリー教室（学校MM）」を実施しました。

【内容】 対象：真岡市立真岡東小学校 4年生

- 乗降体験：東野バスおよびコミュニティバス「コットベリー号」の乗り方教室を実施
 - ※ 方向幕・バス停の見方（行き先確認）、整理券の取り方、乗車中のルール・マナー、降車ボタンの使用方法、運賃表の見方、運賃の支払方法等を学習
- 福祉体験：車椅子での乗降体験（体験者生徒代表2名）、車椅子の固定方法などバス車両の対応を学習



【感想】

- ・個人でバスに乗ったことがないので、授業を受けてバスに乗ってみたいという気持ちになった。
- ・おばあちゃんは車をもっていないため、近くのスーパーに行くことしかできないので、今度コットベリー号に乗って一緒に買い物に行きたい。
- ・バスの中はとても広く、バリアフリーが充実していていいなと思った。

1月23日 第2回協議会

第2回協議会では、市貝町での地域フォーラムの開催、秋田への視察、真岡市における学校MMの実施報告を行いました。また、公共交通でおでかけする周遊ルートの方定手法として、ワークショップ形式での実施を決定しました。

3月25日 第3回協議会

第3回協議会では、おでかけマップの更新を報告するとともに、来年度の周遊ルート策定ワークショップの概要について決定いたしました。また、来年度も引き続き、学校MM、先進都市事例調査・研究の実施することを決定しました。